公益財団法人久留米文化振興会

2019 年度 事業報告書

自　2019 年　4 月　1 日
至　2020 年　3 月 31 日

目　次

Page

Ⅰ　事業の概要

（総　括）　……　2

（重点的な取組み）　……　3～4

（新型コロナウイルス感染症拡大　防止による本年度事業への影響）　5

Ⅱ　事業活動　……　6

≪公益目的事業≫　……　7

公１　芸術文化施設等の管理運営事業……　8～9

公２　芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業……　10～17

公３　美術館運営事業……　18～22

≪収益事業≫　……　23～24

収１　ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

収２　売店・喫茶事業

収３　久留米市等公共団体からのイベント受託事業

収４　久留米市の公共施設の指定管理事業

収５　駐車場管理運営事業

≪事務局事業≫　……　25

Ⅲ　処務の概況　……　26～27

１．役員に関する事項
２．会議に関する事項
３．許可・認可・承認に関する事項
４．届出・申請等に関する事項
５．組織に関する事項

Ⅳ　附属明細書　……　28

Ⅰ　事業の概要

（総　括）

当財団が管理運営する石橋文化センターは、株式会社ブリヂストンの創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、１９５６年に建設、久留米市に寄贈された文化施設です。

石橋文化センターには、美術館、ホール、日本庭園等があり、文化芸術活動への参加のみならず、四季折々の花をテーマとしたイベント参加や庭園の散策を目的に市内外から多くの方にご来園いただいています。

２０１９年度事業では、久留米市美術館開館（２０１６年１１月）を機に重点的に取り組んでいる「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」をさらに発展させるよう努めました。これは、美術館とホールや園内で開催する事業を連携するもので、活動を通じて相互の魅力向上を図りました。

本年度は石橋正二郎氏の生誕１３０年にあたることから、石橋正二郎記念館を活用した取り組みの強化などにより、石橋文化センター寄贈理念に込められた思いを広く伝え継承しました。

また、久留米市により石橋文化会館の外壁が改修され、美術館等と調和がとれた外観に変わりました。この工事には公益財団法人石橋財団の支援が含まれています。

一方、７月の豪雨では、美術館１階と石橋文化ホールが浸水し、舞台設備や空調室外機が水没する被害が発生しました。さらに、３月には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展覧会や様々な事業を中止し、石橋文化ホールや共同ホールなど施設の貸し出しも休止しました。

その他、２０２１年度から新たに始まる久留米市美術館の第２期指定管理期間に向けた美術館の５ヵ年計画や中長期を見据えた財団の基本計画の策定作業に取り組みました。

石橋文化センター以外の活動では、久留米シティプラザ内の「石橋文化センター情報サテライト」が２年を経過し、情報発信とチケット販売窓口として、市民のみならず催事主催者の利便性向上に寄与しています。

さらに、石橋文化センターに隣接する「久留米市野中生涯学習センター」の指定管理者公募が行われ、２０２０年度から５年間の指定管理者に選定されました。

以上のように、２０１９年度も、石橋文化センター内の各施設における事業を中心としながら芸術文化の振興と地域文化の活性化を図ってまいりました。

（重点的な取組み）

１．新たな美術館の基本方針に基づく事業推進

（１）郷土の歴史をふまえた特徴あるコレクション形成

久留米市の収集方針に基づく作品収集のため、候補作品を久留米市に提案し、特徴あるコレクション形成に寄与しました。

（２）魅力ある展覧会や教育普及活動の展開

公益財団法人石橋財団の特別助成による「没後５０年　坂本繁二郎展」「ショパン−２００年の肖像」の２本の展覧会の他、１階で開催した「tupera tupera 絵本の世界展」など６本の展覧会を実施しました。

ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、３月２日から美術館、石橋正二郎記念館を臨時休館したことにより、「ショパン−２００年の肖像」は会期途中で終了しました。

また、２０１９年１２月には、２０１６年１１月の開館以来、久留米市美術館の来館者が３０万人を達成しました。

（３）石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動の推進

美術館が主催する展覧会を軸に、園内やホールで開催する事業との連携により相互の魅力向上を図りました。

特に、「ショパン−２００年の肖像」では、ショパン連動企画として、石橋文化ホールでピアノリサイタル等を開催し、来場者により多くの楽しみを提供することができました。

その他、美術館開館以来取り組んでいる「アートフェスティバル」や「ミュージアムコンサート」の充実を図りました。

（４）市民と共に創り育てる仕組みづくり

①友の会会員の増加

ミュージアム会員（美術館年間フリーパス）を含む制度にリニューアルし３年目を迎えた友の会は、前年度を上回る会員に入会いただきました。

②協賛制度の取り組み

「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」や園内の環境整備等に資する目的で企業・団体・学校からの支援を募りました。

特に、オフィシャルパートナーへの積極的な加入要請を展開し、２０２０年度から企業３社が加わることになりました。

２．石橋正二郎記念館の積極的な活用

企業や団体、学校からの見学を積極的に受け入れるとともに、記念館でのコンサート等も実施しました。また、「石橋正二郎生誕１３０年記念事業」として開催した「没後５０年　坂本繁二郎展」では、「石橋正二郎生誕１３０年記念事業」のロゴを制作して同展と生誕事業の PR に活用しました。また、同展のチラシに坂本と正二郎のゆかりや記念館へのマップを掲載したほか、同展と記念館をあわせて楽しんでもらうクイズノートを新たに制作しました。子どもから大人まで参加できるクイズノートは好評で、参加記念としてオリジナルデザインの缶バッジをプレゼントしました。また記念館の展示コーナーでも、坂本繁二郎の油彩画を展示しました。

３．石橋文化センターブランディングの推進

久留米市美術館開館を契機に新たに導入したブランディングを推進し、石橋文化センター全体のブランドイメージを高めるよう努めました。シンボルマーク等の使用のみならず、ブランドの目指す「楽しみと幸福の時間。」を提供していくよう様々な事業を通じて努めました。

４．広報・情報発信の強化

組織を横断した「事業・広報連携プロジェクト」により、美術館展覧会を中心にホールや園内事業との連携を図るとともに、マスコミへの効果的な情報発信を行えるよう定期的に検討しました。

また、西鉄キッチン列車の運行開始に伴い、福岡天神駅と花畑駅で、バラフェア等の PR ブースを設置しました。雑誌などには、園内事業と展覧会をセットで掲載するなど、魅力を高めるよう努めました。

５．久留米シティプラザとの連携

２０１８年４月に久留米シティプラザ内に開設した「石橋文化センター情報サテライト」にて、石橋文化センターや久留米市美術館の情報を発信するとともに、久留米シティプラザで開催される催しのチケットも販売し、市民の利便性向上を図りました。

６．組織体制の強化

課長級を中心とした運営会議（月 2 回開催）等を通じ、情報共有と業務の効率化を図りました。

また、働き方改革への取り組みとして、毎週水曜日のノー残業デー実施に努めるなど、長時間労働の抑制を図りました。

７．その他の取り組み

より魅力ある庭園作り等に資するため、石橋文化センター内に募金箱を設置し来園者から支援を募りました。集まった募金により、園内にモミジ等を植栽しました。

（新型コロナウイルス感染症拡大防止による本年度事業への影響）

１．展覧会等の催事

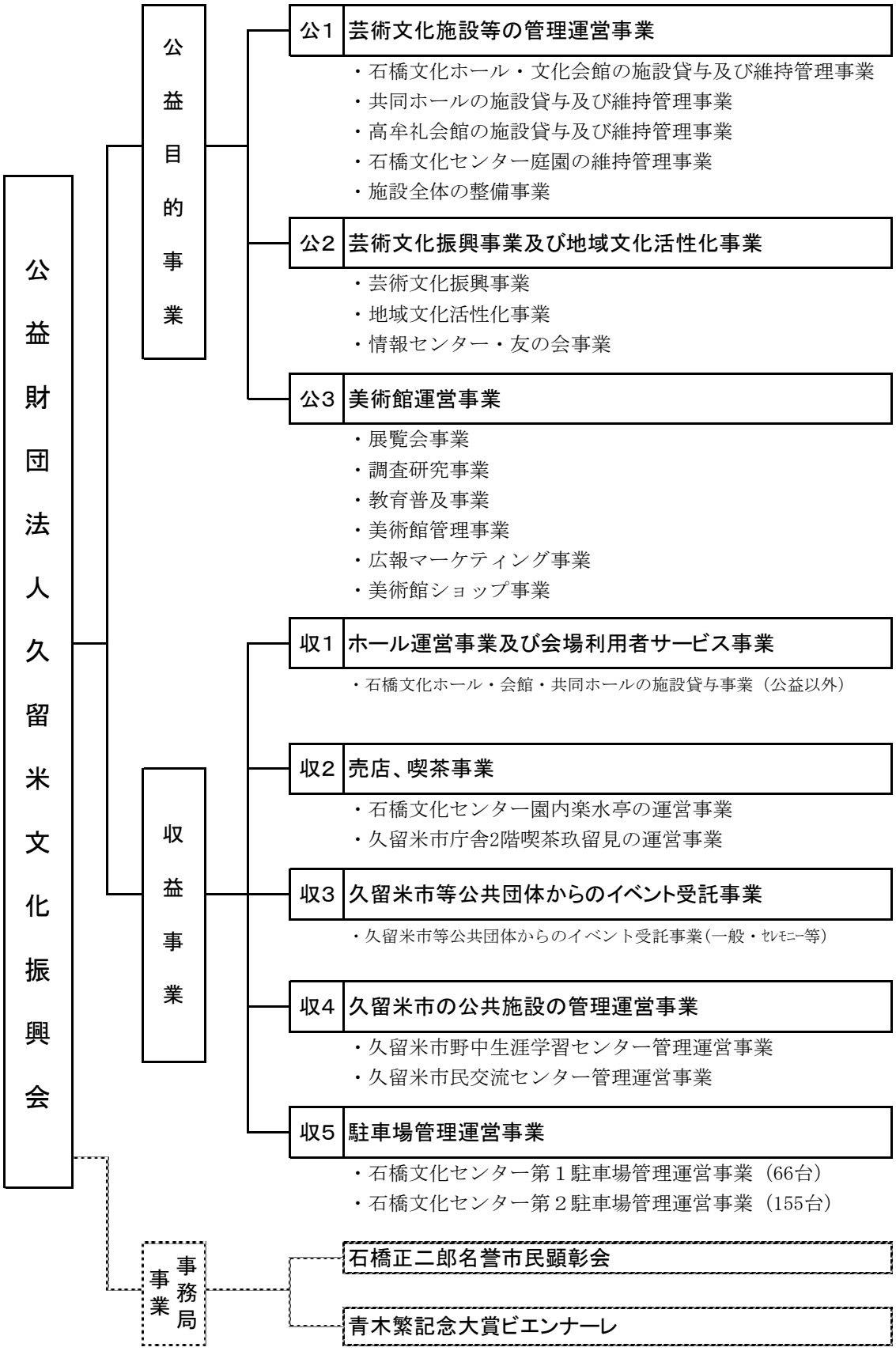
催　　事	対　　応	区分
久留米市美術館 展覧会「ショパン−200 年の肖像」 会期：２月１日（土）～3 月 22 日（日）（45 日間）	3 月 2 日から臨時休館し、展覧会は 3 月 1 日（日）で終了しました。 45 日間の会期中、開館日数は 27 日でした。	公３
石橋正二郎記念館 第 11 期　石橋文化センターを訪れた作家たち 会期:11 月 16 日(土)～3 月 22 日(日)	3 月 2 日から臨時休館し本年度は再開できませんでした。	公３
「ショパン−200 年の肖像」関連事業		
ショパン ～誕生から二十歳の旅立ちまで～ 日時：3 月 1 日（日）14 時 会場：石橋文化ホール 料金：2,000 円（学生 1,000 円）	2 月 28 日（日）に中止を決定しました。	公３
記念講演会「ショパンの人と音楽 小説『葬送』を巡って」 日時：3 月 7 日（土）14 時 会場：共同ホール 講師：平野啓一郎氏（作家）	2 月 27 日（土）に中止を決定し、事前申し込みにより当選していた 464 人に中止をハガキで通知しました。	公３
くるめライブチャレンジ 2019 ベストパフォーマー大会 日時：２月 23 日（日）15 時 会場：久留米シティプラザ久留米座	2 月 21 日（金）に中止を決定しました。 出演予定は 8 組でした。 ※久留米市からの受託事業	公２
くるめ街かど音楽祭（第 7 回） 開催日：3 月 21 日（土）、22 日（日） 会場：久留米シティプラザ・グランドホールほか市内 8 会場	2 月 25 日（火）に中止を決定しました。 出演予定は約 100 組でした。 ※久留米市からの受託事業	公２

２．施設の貸し出し

施　　設	対　　応	区分
久留米市美術館 1 階展示室	3 月 2 日から臨時休館しました。 3 月 31 日までの貸し出し予定はありませんでした。	公３
石橋文化ホール 石橋文化会館 共同ホール	3 月 7 日（日）から 31 日（火）まで施設の貸し出しを休止し、利用予定の主催者には中止または延期を要請しました。	公１
高牟礼会館		
久留米市野中生涯学習センター	同上	収４
久留米市民交流センター		

Ⅱ．事業活動

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



≪公益目的事業≫

公益財団法人久留米文化振興会は、芸術文化の振興と地域文化の活性化を図ることにより、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与することを目的としています。

今年度も、石橋文化センター及び園内の各施設を中心に事業を実施しました。

【石橋文化センター入園者及び主要施設の利用状況】

	当年度	前年度	対前年度
石橋文化センター入園者数（人）	567,876	567,354	522
久留米市美術館 主催展覧会入館者数（人）	103,939	85,885	18,054
石橋正二郎記念館入館者数（人）	31,206	28,665	2,541
石橋文化ホール入場者数（人）	113,150	133,120	▲19,970
石橋文化会館入場者数（人）	45,699	63,517	▲17,818
共同ホール入場者数（人）	41,441	50,696	▲9,255

＊新型コロナウィルス感染拡大防止による臨時休館など

【3 月 2 日以降臨時休館】久留米市美術館、石橋正二郎記念館

【3 月 7 日以降貸出休止】石橋文化ホール、文化会館、共同ホール

【石橋文化センター入園者等の月別推移】

	入園者数（人）			展覧会入館者数（人）		
	当年度	前年度	対前年度	当年度	前年度	対前年度
4 月	51,757	56,062	▲4,305	5,731	4,689	1,042
5 月	121,551	114,735	6,816	12,251	8,206	4,045
6 月	41,187	40,216	971	6,492	4,691	1,801
7 月	29,544	25,972	3,572	5,016	4,518	498
8 月	43,568	33,328	10,240	23,897	15,738	8,159
9 月	39,575	36,608	2,967	5,681	10,828	▲5,147
10 月	50,469	47,068	3,401	7,913	5,407	2,506
11 月	70,335	64,433	5,902	9,179	9,357	178
12 月	34,101	44,165	▲10,064	5,899	12,938	▲7,039
1 月	32,933	30,326	2,607	6,389	1,892	4,497
2 月	29,991	31,691	▲1,700	6,230	4,000	2,230
3 月	22,865	42,750	▲19,885	415	3,621	▲3,206
合 計	567,876	567,354	522	103,939	85,885	18,054

公１	芸術文化施設等の管理運営事業

石橋文化センター諸施設並びに高牟礼会館の施設貸与及び維持管理事業を行うことにより、芸術文化の振興と地域文化の活性化に取り組みました。

公１―Ⅰ　施設の貸与事業

１．石橋文化ホール・文化会館、共同ホール

【施設貸与状況】

※3 月 7 日以降は新規貸し出しを休止しましたが、すでに申込が完了していた催事の一部利用がありましたので、当年度開館日数は休止期間を控除していません。

施　設			開館日数	利用日数	利用率（%）	利用者数（人）
石橋文化ホール		当年度	317	206	65.0	113,150
		前年度	315	232	73.7	133,120
石橋文化会館	小ホール	当年度	317	178	56.2	15,604
		前年度	315	198	62.9	19,006
	会議室・研修室	当年度	1,585	857	54.1	19,313
		前年度	1,575	947	60.1	30,260
	市民ギャラリー	当年度	317	149	47.0	10,782
		前年度	315	156	49.5	14,251
小　計					当年度	158,849
					前年度	196,637
共同ホール		当年度	317	140	44.2	30,359
		前年度	315	158	50.2	36,806
研修棟		当年度	1,902	643	33.8	11,082
		前年度	1,890	764	40.4	13,890
小　計					当年度	41,441
					前年度	50,696
合　計					当年度	200,290
					前年度	247,333

【利用促進事業】

事　　業		実施回数など
ちょっと気軽にスタインウェイ（石橋文化ホール）	当年度	17 回実施　172 人利用
	前年度	21 回実施　173 人利用
ちょっと気軽にカワイＥＸ（共同ホール）	当年度	23 回実施　292 人利用
	前年度	24 回実施　256 人利用
ちょっと気軽にピアノ発表会（小ホール）	当年度	13 回利用
	前年度	14 回利用
バックステージツアー（石橋文化ホール）	当年度	2 回実施　32 人利用
	前年度	2 回実施　26 人利用

事　　業			実施回数など
ちょっと気軽に団体練習 （石橋文化ホール）		当年度	2 回実施　152 人利用
		前年度	6 回実施　169 人利用
練習利用	石橋文化ホール	当年度	3 件
		前年度	2 件
	小ホール	当年度	7 件
		前年度	6 件

２．高牟礼会館

【施設貸与状況】

年度	件数	利用人数	利用者作品展
当年度	1.658 件	16.669 人	10 回
前年度	1,959 件	19,456 人	9 回

公１―Ⅱ　施設の維持管理

１．庭園管理

（１）石橋文化センター園内整備実施プラン

2018 年度に「石橋文化センター園内整備計画検討会議」にて「石橋文化センター園内整備実施プラン」として、美術館前バラ園を 4 年間（計 4 回）かけて植替えることを計画しており、その第 2 回目として 6 品種 240 株の植替えを実施しました。

（２）園内の樹木管理と魅力向上

園内の安全対策として、久留米市の協力を得て石橋文化センター園内（高牟礼会館含む）の主要な樹木診断を実施し、腐朽などにより倒木の危険がある樹木について、伐採や剪定などの処置を行っています。

また、園内の魅力向上のために、モミジなどの紅葉する樹木を追加植栽したほか、久留米市からサクラを追加植栽いただきました。

２．施設整備事業

（１）施設の機能維持や安全性確保のために実施した事業

石橋文化ホール楽屋空調機取替修繕
共同ホール舞台機構設備精密検査業務
楽水の池深井戸水中ポンプ取替修繕

（２）７月の豪雨被害からの復旧対応（久留米市による施工）

リハーサル棟室外機更新
照明器具の更新
オーケストラピットの仮固定　など

（３）石橋文化会館外壁改修（久留米市による施工）

レンガ調の外壁材によるカバー工法
※工事費には公益財団法人石橋財団の支援を含む

公２	芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業

ホールや園内で行う文化事業と美術館事業を連携することにより、石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた事業として展開し、相乗効果を図りました。

公２―Ⅰ　芸術文化振興事業

１．優れた芸術文化公演等の鑑賞事業

事　業　名	開催日･会場･料金	入場者数
中丸三千繪＆仲道郁代“気軽にクラシック” with 朝岡聡（ナビゲーター）	2019 年 7 月 17 日(水) 石橋文化ホール 3,000 円(学生 1,500 円)	645 人
ドラゴンクエストコンサート すぎやまこういちと九州交響楽団 ～空と海と大地と呪われし姫君～	2019 年 8 月 18 日（日） 石橋文化ホール 5,000 円	1,052 人

２．市民の文化活動の支援や地域文化団体の育成事業

事 業 名	開催日･会場･料金	入場者数
第 30 回記念くるめ新人演奏会 出演：7 人(ピアノ 5 人、声楽 1 人、器楽 1 人) ※郷土ゆかりの音楽家：4 名	2019 年 6 月 2 日（日） 石橋文化ホール 1,000 円	228 人
くるめ音楽祭 2019	石橋文化ホール 入場無料（要整理券）	3 部門合計 2,087 人
吹奏楽祭 出演：20 団体（649 人）	2019 年 9 月 15 日（日）	1,112 人
合唱祭 出演：42 団体（1,064 人）	2019 年 9 月 16 日（月・祝）	605 人
アンサンブル・フェスティバル 出演：14 団体（150 人）	2019 年 9 月 29 日（日）	360 人
第 48 回市民ブラス・コンサート 2020 ニューイヤー・バンド・フェスティバル 出演：15 団体（315 人）	2020 年 1 月 12 日（日） 石橋文化ホール 入場無料（要整理券）	1,475 人

３．石橋文化センターミュージアム化事業

（１）ミュージアムコンサート

地域で活動する演奏家を支援するとともに、市民に優れた演奏を気軽に楽しめる機会を提供するコンサート。コンサートチケットで展覧会も鑑賞。

入場料： 1,000 円、③子供向けは 600 円（チケット提示で展覧会入館無料）
④、⑦は石橋正二郎記念館もしくは本館 2 階の入館料が必要

会　場：石橋文化ホール（④、⑦は石橋正二郎記念館）

事業名・開催日・内容			入場者数	うち美術館入館者数
① 4 月 26 日（金） ※開園記念日・無料	特別講演＆弦楽四重奏		640 人	197 人
② 5 月 29 日（水）	室内楽		445 人	164 人
③ 8 月 12 日（月）	オカリナ	①こども向け	112 人	2 階 152 人
		②一般	319 人	1 階 53 人
④ 9 月 1 日（日） ※石橋正二郎記念館	チェロ、尺八、ピアノ		130 人	―
⑤ 9 月 24 日（火）	ジャズ		314 人	173 人
⑥11 月 19 日（火） ※開館記念日・無料	フルート、ピアノ		639 人	186 人
⑦ 2 月 9 日（日） ※石橋正二郎記念館	オーボエ、チェロ、ピアノ		110 人	―
⑧ 3 月 11 日（水）＊	ピアノ		中止	中止
	合　計		2,709 人	925 人

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止

（２）石橋文化センターアートフェスティバル

2016 年 11 月の久留米市美術館開館を機に取り組んでいる事業で、今回が４回目となります。アーティストと市内の小学生・県内外の芸術系学部の大学生らが集い、夏から創作活動を経て完成したアート作品を園内各所に展示しました。また、夜には作品のライトアップを行いました。

開催日：11 月 2 日（土）～12 月 1 日（日）
会　場：石橋文化センター園内各所
期間中の来園者数：73,290 人

①子どもたちとアーティストによるアート創造プロジェクト

地元アーティストに、市内の小学生、アートサポーターを加えた総勢 32 名が、交流を図りながら、アート作品の創作に取り組みました。８月に４日間にわたるワークショップを実施。フェスティバル期間中は、「陶芸」をテーマに、園内に美術館に見立て作品を展示しました。

・参加アーティスト　平井 亮汰

②アーティストを志す大学生等の創作活動支援プロジェクト

美術系大学生が、７月から１０月にかけて、合同の意見交換会などを行いながら、大学ごとに特色のある作品を制作し、屋外に展示しました。

・参加大学

九州大学 芸術工学部 ３年生（４名）「tech-tech」

九州産業大学 芸術学部 １年生（１２名）、４年生（１名）

「Wrap the ICC！ ～久留米絣インスタレーション～」

佐賀大学 芸術地域デザイン学部 ３年生（１０名）「逆襲の SAGA」

③市民創作体験プロジェクト「みてみてかいて けしけしけしき」

久留米の多くの画家や起業家が想いを馳せてきた風景を感じることができる、大人から子供まで、楽しみながら創造性を育む体験型ワークショップを実施し、アート作品を制作しました。

・参加アーティスト　加藤 笑平、関岡 絵梨花

・ワークショップ開催日：11 月 2 日（土)、3 日（日・祝）

・ワークショップ参加者：延べ 570 人

④アートワークショップ

開催日：11 月 2 日（土)、3 日（日・祝)、4 日（月・振)、16 日（土)、17 日（日）

参加者：合計 91 人

⑤園内ライトアップと光のアート

開催日：期間中の金・土・日 15 日間

入園者：2,850 人

（３）ミュージアムクリスマス

「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」として、園内のライトアップとイルミネーションにより、市民に「楽しみと幸福の時間」を提供しました。

また、展覧会の延長開館と無料入館により、美術館に足を運ぶ機会を創出しました。

開催日：12 月 13 日（金）～12 月 25 日（水）

会　場：石橋文化センター全域

①ライトアップ＆イルミネーション

開催日：12 月 13 日（金）～12 月 25 日（水）金土日祝　17 時～20 時

期間中入園者 1,877 人

②美術館延長開館（19 時まで)「熊谷守一　いのちを見つめて」

開催日：12 月 21 日（土）17 時以降入館無料

入館者：49 人

③クリスマスコンサート

会場：石橋正二郎記念館 2 階ロビー

時間：13 時～13 時 45 分

開催日	入場者数
12 月 14 日（土）	70 人
12 月 15 日（日）	90 人
12 月 21 日（土）	80 人
12 月 22 日（日）	60 人
合　　計	300 人

④ワークショップ

開催日	内　　容	参加者数
12 月 14 日(土) 15 日（日）	① クリスマス押し花オーナメント	97 人
	② クリスマス押し花ミニ立て額	32 人
	③ アイシングクッキーのガーランド作り	25 人
	④ 壁にも飾れるクリスマスツリー	27 人
12 月 21 日(土) ～22 日（日）	① ガラスのクリスマスのオーナメント作り	55 人
	② クリスマスケーキキャンドル	31 人
	③ LED で灯すクリスマスキャンドル	19 人
	合計	286 人

⑤メッセージキャンドル（ペリカン噴水周辺）

開催日：12 月 21 日（土)、22 日（日）　参加総数 100 人（22 日雨天中止）

（４）ミュージアムバレンタイン

バレンタインに合わせて、ワークショップや恋木神社特別祈願絵馬所を設置し、展覧会及び石橋正二郎記念館への誘客を図りました。

開催日：2 月 1 日（土）～2 月 14 日（金）

① 恋木神社特別祈願絵馬所

期間： 2 月 1 日（土）～2 月 14 日（金）

場所：楽水亭付近

絵馬祈願 435 枚、おみくじ 159 枚

② フラワーグッズ販売

期間：2 月 1 日（土）～2 月 14 日（金）

場所：楽水亭ギャラリーショップ

③ ワークショップ　大切な人に贈る花束作り

開催日：2 月 9 日（日）

参加人数　5 人

４．次代を担う世代とともに行う振興事業～未来への種をまく事業～

（１）石橋文化センタースケッチ大会

開催日：4 月 20 日（土）、21（日）
会　場：石橋文化センター園内 他
参加者：こどもスケッチ大会　　730 人（作品提出者）

（２）夏休み親子企画「石橋正二郎さんを学ぼう」

石橋正二郎生誕 130 年を記念してゆかりの地を見学するバスツアーを開催しました。
開催日：8 月 8 日（木）
見学地：ブリヂストン久留米工場、石橋正二郎記念館、久留米市美術館
参加者：16 組 34 人

（３）学校への芸術家等派遣事業（久留米市からの受託事業）

学校と芸術家との協働で、子どもが文化芸術体験を通じて学び、表現できる環境を整える目的として、市内の小学校及び特別支援学校でワークショップを実施しました。

ジャンル	学校数	参加生徒数
水墨画	6 校	491 人
美術	1 校	39 人
狂言	9 校	542 人
邦楽	2 校	239 人
音楽	1 校	102 人
能	1 校	75 人
茶道	1 校	70 人
ダンス	1 校	17 人
演劇	1 校	81 人
合唱	2 校	163 人
和太鼓	1 校	115 人
馬頭琴	4 校	511 人
合計	30 校	2,445 人

（４）久留米市文化芸術コーディネーター養成講座（久留米市からの受託事業）

上記、派遣事業のコーディネーターの意見交換会を開催

① 第 1 回意見交換会
開 催 日：10 月 4 日（金）
開催場所：石橋文化会館 1 階会議室
受講者数：13 人

② 第 2 回意見交換会
開 催 日：1 月 21 日（火）
開催場所：石橋文化会館 1 階会議室
受講者数：13 人

③ 第 3 回意見交換会 ＊新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止
開催予定日：3 月 6 日（金）

公２―Ⅱ地域文化活性化事業

１．石橋文化センター園内の花や美術館を活用した市民参加の事業

（１）７つの花のイベント

石橋文化センターの庭園を活用し、季節を捉えた「７つの花のイベント」を実施。

事　業　名	開　催　日	期間中入園者数（前年度）
① 春のバラフェア 2019	4 月 28 日(日)～5 月 19 日(日)	107,545 人(104,271 人)
GW･メインイベント期間	5 月 3 日(金・祝)～6 日(月・振) 5 月 11 日(土)、12 日(日)	56,686 人(50,719 人)
② あじさい･はなしょうぶまつり	5 月 23 日(木)～6 月 16 日(日)	42,717 人(42,258 人)
③ 秋のバラフェア 2019	10 月 19 日(土)～11 月 17 日(日)	73,565 人(66,127 人)
④ もみじまつり	11 月 9 日(土)～12 月 1 日(日)	41,924 人 (33,860 人)
春の花まつり	2 月 8 日(土)～4 月 5 日(日)	48,622 人(67,519 人)
⑤ 梅まつり	2 月 8 日(土)～3 月 1 日(日)	23,231 人(29,216 人)
⑥ つばきまつり※	3 月 7 日(土)～22 日(日)	13,029 人(12,636 人)
⑦ SAKURA まつり※	3 月 21 日(土)～4 月 5 日(日)	12,362 人(25,667 人)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため イベント中止	合　計	314,373 人（314,035 人）

（２）坂本繁二郎旧アトリエ特別公開

花のイベントに合わせて坂本繁二郎旧アトリエを公開しました。

事　業　名	開　催　日	入場者数
春のバラフェアシリーズ	5 月 3 日(金)～6 日(月・祝) 5 月 11 日(土)、12 日 (日)	2,572 人
あじさい・はなしょうぶまつりシリーズ	6 月 8 日(土)、9 日(日)	448 人
秋のバラフェアシリーズ	11 月 2 日(土)､3 日(日)	449 人
つばきまつりシリーズ※	3 月 15 日(日)、20 日(金・祝)、22 日(日)	中止
SAKURA まつりシリーズ※	3 月 28 日(土)、29 日(日)	中止
※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため公開中止	合　計	10 日間　3,519 人 （前年度 10 日間　2,378 人）

（３）ガーデンテラスコンサート

美術館運営移行を機に新設したガーデンテラスで気軽な野外コンサートを開催しました。

開　催　日	内　容	入場者数
5 月 25 日 (土)	あじさい･はなしょうぶまつり｢ホタル観賞＆コンサート｣	300 人
9 月 28 日(土)、10 月 5 日(土)	ガーデンテラスコンサート(9/28 は雨天により記念館で開催)	合計 320 人
11 月 16 日(土)､17 日(日)、23 日(土・祝)、24 日 (日)	もみじまつり「もみじコンサート」(11/24 は雨天により記念館で開催)	合計 1,300 人
		合計 1,920 人

（４）くるめぐるフェスタ

近隣５施設（石橋文化センター、久留米市美術館、福岡県青少年科学館、くるめウス久留米市鳥類センター）で連携し各施設を巡るスタンプラリーを実施していますが、今年度２回目となる「くるめぐるフェスタ」を開催しました。

開催日：9 月 7 日（土）～8 日（日）
会　場：石橋文化センター園内、美術館など
入園者：7,937 人

２．久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業

（久留米市からの受託事業）

（１）くるめ街かど音楽祭（第 7 回）

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止

「街に音楽があふれる」という基本コンセプトを掲げ、プロ・アマのミュージシャンが 2 日間にわたり、市内中心部の 8 会場で実施予定でした。

［開催予定内容］

日　時：3 月 21 日（土）、22 日（日）　時間は 10 時～17 時（会場により異なる）
会　場：久留米シティプラザ ザ・グランドホール、六角堂広場、C ボックス
西鉄久留米駅東口広場、一番街プラザ、坂本繁二郎生家、青木繁旧居、真教寺、千栄禅寺（全 8 会場）

（２）くるめライブチャレンジ 2019

音楽分野における人材発掘・育成支援のため、全国から出演者を募集し、4 回に分けて無料ライブを開催しました。

開催日：7 月 14 日（日）、8 月 18 日（日）、9 月 29 日（日）、11 月 23 日（土・祝）
時　間：16 時 30 分～19 時 00 分
会　場：久留米シティプラザ（C ボックス・六角堂広場）
出演者：全 32 組（応募者 73 組）各回出演者は 8 組
入場者：全 2,250 人

（３）くるめライブチャレンジ 2019　ベストパフォーマー大会

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止

全 4 回開催のライブチャレンジ各回で選出されたベストパフォーマーが出場し、“ベスト・オブ・ベスト”を競い合うコンテスト『ベストパフォーマー大会』を実施予定でした。

［開催予定内容］

日　時： 2 月 23 日（日）15 時～18 時
会　場：久留米シティプラザ久留米座
出演者：8 組

（４）くるめライブチャレンジ　ベスト・オブ・ベストパフォーマー・ワンマンライブ

2018 年度チャンピオンによるワンマンライブを開催

日　時：7 月 7 日（日）16 時～17 時
会　場：久留米シティプラザＣボックス
出　演：MOJIBAKE（福岡市／3 人組バンド）
入場者：115 人

公２―Ⅲ 情報センター友の会事業

１．情報誌の発行・ホームページ・フェイスブックの運営

情報誌「みどりのリズム」毎月発行　12,000 部

２．友の会事業

久留米市美術館年間フリーパス等の特典を取り入れた新たな友の会制度としてリニューアルし、3 年目となりました。

（1）会員の状況

区　　分	新規	継続	合　　計（前年度）
ミュージアム会員	130 人	361 人	491 人（399 人）
スタンダード会員	30 人	111 人	141 人（158 人）
合　　計	160 人	472 人	632 人（557 人）

（2）友の会会員事業

事 業 名	開催日･会場･料金	参加者数
芸術鑑賞の旅 2019（日帰り編）～山口～ 旅行主催：西鉄旅行㈱	11 月 15 日（金） 山口県立美術館、下関市立美術館 参加費 16,700 円	25 人
楽しむ講座シリーズ		
没後 50 年 坂本繁二郎　展	5 月 16 日（木）	49 人
ラファエル前派の軌跡　展	7 月 25 日（木）	95 人
タータン伝統と革新のデザイン　展	10 月 18 日（金）	44 人
熊谷守一 いのちを見つめて 展	12 月 5 日（木）	46 人
ショパン －200 年の肖像 展	2 月 20 日（木）	84 人
	計	343 人

上記講座の会場はすべて石橋文化会館小ホール

料金：ミュージアム会員無料、スタンダード会員 500 円、一般 1,000 円

３．石橋文化センター情報サテライト

「石橋文化センター情報サテライト」は、2018 年 4 月に久留米シティプラザ２階総合受付正面に開設し 2 年目を迎えました。

情報サテライトでは、石橋文化センターや久留米市美術館、その他文化情報の発信の他、石橋文化センターや久留米シティプラザで開催するコンサートチケットも販売し、市民の利便性向上を図りました。

公３	美術館運営事業

久留米市の「新たな美術館の基本方針」に基づき、市民をはじめ多くの方々に親しまれる美術館となることを目指し、指定管理者として久留米市美術館の管理運営を行いました。

１．展覧会事業

本館２階にて企画展を５本、本館１階では人気作家による絵本原画展を開催しました。

会 場	展 覧 会	会 期	一般 料金	入館者数 開館日数
本館 ２階	没後50年　坂本繁二郎展 ※公益財団法人石橋財団特別助成	4 月 6 日(土) ～6 月 9 日(日) (58 日間)	1,000 円	22,488 人 (58 日)
	ラファエル前派の軌跡	6 月 20 日(木) ～9 月8日(日) (72 日間)※1	1,000 円	18,445 人 (70 日)
	タータン 伝統と革新のデザイン	9 月 21 日(土) ～11 月 4 日(月･振) (41 日間)	1,000 円	14,548 人 (41 日)
	熊谷守一 いのちを見つめて	11 月 16 日(土) ～2020 年 1 月 13 日 (月･祝) (45 日間)※2	1,000 円	16,418 人 (46 日)
	ショパン―200 年の肖像 ※公益財団法人石橋財団特別助成	2020 年 2 月 1 日(土) ～3 月 22 日(日) (45 日間)※3	1,000 円	6,645 人 (27 日)
本館 １階	tupera tupera 絵本の世界展	8 月 6 日(土) ～9 月 8 日(日) (31 日間)※4	800 円	25,395 人 (30 日)
※1　7/21(日)大雨、8/15(木)台風のため臨時休館 ※2　1/3(金)正月特別開館 ※3　3/2(月)～3/22(日)新型コロナウィルス感染拡大防止のため臨時休館 ※4　8/15(木)台風のため臨時休館 (会期 292 日間うち開館日数 272 日)			合計	103,939 人 (272 日)

展覧会「ショパン ―200 年の肖像 展」関連イベント（会場は全て石橋文化ホール）

事　業　名	開催日･料金	入場者数	うち美術館 入館者数
クシシュトフ・ヤブウォンスキ ピアノリサイタル	1 月 16 日(月・祝) 3,000 円(学生 1,500 円)	950 人	353 人
ショパンの「ポロネーズ」 そのリズムの源泉 ～宮廷舞踏ポロネーズ～	2 月 16 日(日) 2,000 円(学生 1,000 円)	539 人	318 人
ショパン ～誕生から二十歳の旅立ちまで～＊	3 月 1 日(日) 2,000 円(学生 1,000 円)	中止	中止

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止

２．石橋正二郎記念館の運営

「石橋正二郎記念館」の展示やガイドを通じ、寄贈者の足跡や文化センターの歴史等を市民に紹介しました。本館で開催の「没後 50 年　坂本繁二郎展」を「石橋正二郎生誕 130 年記念事業」と位置づけ、本館と記念館をつなぐ「繁二郎・正二郎クイズノート」を制作しました。記念品として 3 種類のバッジも用意し、クイズ参加者にプレゼントしました。クイズノートは、坂本展終了後も活用しました。また、小中学生の団体受け入れ時には、紙芝居を活用し正二郎氏が石橋文化センターを寄贈した思いを伝えました。

さらに、石橋コレクションの中から下記テーマに添った作品や資料を展示しました。

期	展示テーマ	会　　期
第 9 期	石橋正二郎と坂本繁二郎	4 月 6 日（土）～6 月 9 日（日） （58 日間）
第 10 期	石橋正二郎と ブリヂストン美術館	6 月 20 日（土）～11 月 10 日（日） （130 日間）
第 11 期	石橋文化センターを訪れた 作家たち	11 月 16 日（土）～2020 年 3 月 22 日（日） （106 日間）

入館者数合計　31,206 人（会期 294 日間うち開館日数 275 日）

※7/21（日）大雨、8/15(木)台風のため臨時休館、1/3(金) 正月特別開館、
3/2(月)～3/22(日)新型コロナウィルス感染拡大防止のため臨時休館

３．調査研究事業

（１）作品収集、保存・修復のための調査研究

・久留米市美術品収集委員会で審議する候補作品の選定

「久留米市美術品収集方針」に沿った作品を収集候補作品リストとして久留米市に提出しました。久留米市美術品収集委員会での審議を経て購入及び寄贈受入が決定した作品は、写真撮影や現状調査を行い、画面および額の修復、改善が必要なものは、修復を行った後、収蔵庫に保管しました。

・展示環境の管理

文化庁の「美術品補償制度」を活用した「ラファエル前派の軌跡」展において海外作品の展示もあったことから、美術館の展示環境に問題がないよう、作品の搬出入口や空調、温湿度等の管理を徹底しました。

（２）作家・作品及び展覧会企画のための調査研究

今年度の６つの展覧会において、取り上げる作家・作品について調査研究し、その成果は、展示や図録等で発表しました。また、次年度以降の展覧会企画について、調査研究を行いました。

（３）久留米市美術館年報２（2018.4-2019.3）の刊行

久留米市美術館の 2018 年度活動報告をまとめた年報を刊行しました。

４．教育普及事業

（１）展覧会に関する美術講座等の開催

①展覧会関連美術講座・スペシャルギャラリートーク　※みゅ～ず講座は除く

講座名（講師名）	開催日	参加者数
１「没後５０年　坂本繁二郎展」関連		
①担当学芸員のギャラリートーク（中山景子）	4 月 14 日(日)	20 人
②特別講演「石橋正二郎と坂本繁二郎」（森山秀子）	4 月 26 日(金)	640 人
③美術講座「坂本繁二郎の絵画世界」（森山秀子）	5 月 25 日(土)	90 人
２「ラファエル前派の軌跡」関連		
①記念講演会「ラファエル前派と日本−驚きの軌跡」（河村錠一郎氏/一橋大学名誉教授）	7 月 7 日(日)	120 人
②西洋絵画の主題−神話・キリスト教図像の 19 世紀（佐々木奈美子）	8 月 24 日(土)	130 人
３「ぼくと わたしと みんなの tupera tupera 絵本の世界展」関連		
①tupera tupera ギャラリートーク tupera tupera(亀山達矢氏、中川敦子氏/絵本作家・イラストレーター)	8 月 6 日(火)	50 人
４「タータン　伝統と革新のデザイン」関連		
①スペシャルギャラリートーク（富田智子氏/三鷹市美術ギャラリー主任学芸員）	9 月 21 日(土)	50 人
②担当学芸員のギャラリートーク（佐々木奈美子）	10 月 5 日(土)	50 人
③美術講座「タータンの魅力」（奥田実紀氏/作家・タータン研究家）	10 月 21 日(土)	85 人
④体験講座「ウイスキーの世界 −スコッチウイスキーと竹鶴政孝−」（佐藤一氏/アサヒビール第6代ウイスキーアンバサダー）	10 月 26 日(土)	40 人
５「熊谷守一　いのちを見つめて」関連		
①「モリのいる場所」映画上映会 11 月 21 日は図書館、24 日は石橋文化ホールで開催	11 月 21 日(木)	145 人
	11 月 24 日(日)	418 人
②美術講座「熊谷守一の世界」（藤森武氏/写真家）	12 月 7 日(土)	101 人
③美術講座「熊谷守一の空間」（森智志）	12 月 21 日(土)	中止
６「日本・ポーランド国交樹立 100 周年記念 ショパン−200 年の肖像」関連		
①担当学芸員のギャラリートーク（佐々木奈美子）	2 月 1 日(土)	45 人
②記念講演会「ショパンの人と音楽 小説『葬送』を巡って」（平野啓一郎氏/作家）	3 月 7 日(土)	中止
③ギャラリートーク（佐々木奈美子）	3 月 15 日(日)	中止
参加者数計（16 回）		1,344 人

② 展覧会関連ワークショップ等

事業名（外部講師名）		開催日	参加者数
1 「没後５０年　坂本繁二郎展」関連			
	①ワークショップ「はんじろうさんモビールをつくろう」（オーギカナエ氏/アーティスト）	4 月 27 日(土)	30 人
	②インスタレーション「はんじろうさんの雲」（オーギカナエ氏/アーティスト）	5 月 11 日(土)	375 人
		5 月 12 日(日)	464 人
	③ワークショップ「はんじろうさんブローチをつくろう」	5 月 18 日(土)	66 人
2 「ラファエル前派の軌跡」関連			
	①ワークショップ「わくわく！バーン=ジョーンズのステンドグラスを完成させよう」（瀬戸口朗子氏／洋画家）	8 月 3 日(土)	16 人
3 「ぼくと わたしと みんなの tupera tupera 絵本の世界展」関連			
	tupera tupera の絵本ライブ（tupera tupera/絵本作家・イラストレーター、ザ・スタッカーツ/音楽ユニット）	8 月 11 日(土)	415 人
4 「タータン　伝統と革新のデザイン」関連			
	①ワークショップ「リボンでつくるタータン風ブローチ 紙でつくるタータンチャーム」	10 月 19 日(土)	170 人
	②ワークショップ「スコットランド製タータン生地でつくるくるみボタンブローチ」	10 月 20 日(日)	391 人
		合計（7 事業 8 回）1,927 人	

③その他

夏開催の 2 展(ラファエル前派展、tupera tupera 展)を「夏休みこどもミュージアム 2019」と銘打って展開、ラファエル前派展の小中学生向けワークシートと記念品の団扇を制作。

（２）美術館ボランティア事業

2019 年度ボランティア登録者数　３４人（前年度３６人）

①美術館ボランティア研修

	内容	開催日
1	「ラファエル前派の軌跡」概要研修	6 月 1 日(土)
2	「タータン　伝統と革新のデザイン」ワークショップ練習	10 月 12 日(土)
3	「熊谷守一　いのちを見つめて」概要研修	11 月 2 日(土)
4	「日本・ポーランド国交樹立 100 周年記念 ショパン−200 年の肖像」概要研修	1 月 11 日(土)

②活動

ワークショップ補助、ギャラリートーク、坂本繁二郎旧アトリエ公開時の運営とアトリエトーク、学校団体受入などで活動しました。

・ギャラリートーク　24 回　参加者 670 人
・坂本繁二郎旧アトリエ公開　10 日間　入場者数 3,519 人　トーク参加者 483 人
・市内中学校団体受入　17 校

③新規ボランティア募集と養成研修

次期（2020 年 4 月～2023 年 3 月）活動のためのボランティアを募集し、書類選考・面談を経て、41 名が候補者となり、以下の養成研修を行いました。

1「石橋正二郎について」　2 月 8 日（土）

2「青木繁と坂本繁二郎および坂本繁二郎旧アトリエについて」　2 月 22 日（土）

3「コレクションについて」　3 月 14 日（土）＊

4「コレクションについて 2（ing 展概要）」　3 月 21 日（土）＊

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による臨時休館に伴い中止

（３）**学校団体見学等**（大学生以下）　　※入館者数には引率者を含む

区分	件数（前年度）	入館者数（前年度）
小学校	6 件（8 件）	219 人（363 人）
中学校	28 件（27 件）	3,219 人（2,620 人）
高校等	10 件（12 件）	707 人（656 人）
大学等	6 件（4 件）	142 人（163 人）
その他	4 件（3 件）	99 人（62 人）
合　計	54 件（54 件）	4,386 人（3,864 人）

５．美術館管理事業

・作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理

・1 階展示室貸与事業

久留米市総合美術展など 22 件、延べ貸出日数 243 日、入場者数 45,310 人

６．広報マーケティング事業

美術館及び美術館活動に関する情報発信

・ポスター、チラシ等印刷物や広報くるめ、みどりのリズム等情報誌、ホームページ、フェイスブック、ツイッター等 Web 媒体等による情報発信

・マスメディア等による展覧会広報

・バラフェアや春の花まつりなど園内事業と連携した広告掲出

・デパートとの広報連携や西鉄福岡（天神）、花畑駅での花を使った広告ディスプレイ

７．美術館ショップ事業

・展覧会の図録、関連書籍、画材、文具等の販売

・絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売

・楽水亭との展覧会関連商品販売等の連携

８．協賛制度

「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」や園内の環境整備等に資する目的で企業・団体・学校からの支援を募りました。

特に、オフィシャルパートナーへの積極的な加入要請を展開し、２０２０年度から企業３社が加わることになりました。

区　　分	企業・団体数（前年度）
スペシャルパートナー	1 件（1 件）
オフィシャルパートナー	3 件（3 件）
キャンパスパートナー	1 件（1 件）
一般協賛	53 件（46 件）

≪収益事業≫

収１	ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

石橋文化ホール・文化会館並びに共同ホールの施設貸与において、看板、花、ピアノ調律などを受注し、利用者サービスに努めました。

収２	売店・喫茶事業

公共施設の中にある店舗であることを念頭に置き、収益の確保に努めるとともに、市民が利用しやすいメニュー構成や価格設定にも配慮しました。

また、研修等を通じ、利用者に対するサービス向上に一層努めました。

１．カフェ＆ギャラリーショップ楽水亭

新たな美術館との連携を強化し、展覧会にちなんだカフェメニューの提供等を行い利用者の拡大を図りました。「tupera tupera 絵本の世界展」では、ギャラリーショップで関連グッズを販売し好評でした。

２．喫茶玖留見（久留米市庁舎２階）

リピーター確保のため、月替わりのランチメニュー等に取り組みました。

収３	久留米市等公共団体からのイベント受託事業

当財団の有するノウハウを発揮し、久留米市から式典等の事業を受託しました。

主な受託事業

・新年賀詞交換会　（2020 年 1 月 7 日（火））

収４	久留米市の公共施設の管理運営事業

１．久留米市野中生涯学習センター

2019 年 4 月から生涯学習施設に目的変更され、「久留米市野中生涯学習センター」に名称変更されました。久留米市担当部局と協力しながら利用者への説明を行うとともに、設置目的に合わせ、新規自主事業に取り組みました。

（１）施設貸与状況

	利用可能日数（日）	利用率（%）	利用者数（人）	内　訳（人）	
当年度	298	62.7	51,795	登録団体利用者数	23,817
				一般利用者数	27,978
前年度 ※勤労青少年ホーム	323	65.9	55,541	勤青利用者数	6,549
				一般利用者数	48,992

（２）自主事業の実施状況　（　）内は前年度

①学習機会の提供事業　4 本 11 回　延べ 178 人

②学習成果の発表及び団体間の交流を図る事業　2 本　2 回　延べ 377 人

③地域と利用者との交流事業　1 本　1 回　延べ 478 人

④施設の効果を最大限発揮するための事業　1 本　1 回　延べ　41 人

２．久留米市民交流センター（久留米市庁舎内）

2019 年度から 5 年間の新たな指定管理期間の 1 年目。指定管理者として、市庁舎内３階会議室及びくるみホールの管理運営を行いました。

（１）施設貸与状況

	利用可能日数（日）	利用（%）	利用者数（人）
当年度	348	83.9	102,603
前年度	345	62.7	77,678

（２）自主事業の実施状況

ランチタイムコンサート１回

久留米市芸術文化奨励賞受賞者を広く市民の皆様に紹介する機会とするとともに、翌年に美術館で開催する展覧会「ショパン 200 年の肖像」の告知を兼ね、ショパンの曲目を演奏しました。

日時：11 月 28 日（木）12 時 20 分～12 時 50 分

場所：久留米市庁舎 2 階くるみホール

出演：和田剛治（ピアノ）

2018 年度久留米市芸術文化奨励賞受賞者

収５	駐車場管理運営事業

美術館を含む石橋文化センター全体の利用情報を共有化し、観光バスを含む駐車場混雑状況を事前に把握することで、警備員の増員などの混雑防止対策を講じながら、さらには、石橋文化センターホームページ及びフェイスブックに混雑予測を掲出するなど、利用者サービス向上を図りました。

また、第 2 駐車場の区画線の引き直しや砂利敷きによる水溜まり防止対策を行うことで、利用者がより安全に駐車場を利用できるよう修繕を行いました。

《事務局事業》

１．石橋正二郎名誉市民顕彰会

世の人々の幸福と郷土の発展を願った石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝え、これからのまちづくりを進めるために顕彰事業を実施しました。特に、石橋正二郎名誉市民の生誕 130 年の年にあたることから、事業を充実して実施しました。

（１）会員の状況

2019 年度会員　個人 112 人（119 口）　　法人 69 社（69 口）

（２）事業実施状況

①墓前祭

2019 年 9 月 11 日（水）千栄禅寺　100 人

②ゆかりの地見学会「水明荘」

2019 年 11 月 19 日（木）30 人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、3 月上旬に予定していた「ゆかりの地見学会・東京」については次年度以降に延期、また、同じく「久留米市美術館・講演と見学会」については中止。

２．青木繁記念大賞ビエンナーレ（第 6 回展）

若手作家の飛躍を願う公募展として過去 5 回にわたって開催した「青木繁記念大賞西日本美術展」は、事業名を「青木繁記念大賞ビエンナーレ」へと変更し、事務局としてこれまでの趣旨を継承するとともに、さらなる芸術の振興をめざして第 6 回展を実施しました。

今回から 40 歳以下の作家に対して出品料の値下げと、奨励賞 10 点の新設などにより若手作家の出品を促すよう取り組みました。さらにはオーディエンス賞も新設し、来場者による人気投票も実施しました。

募集期間：2019 年 4 月 1 日(月)～4 月 30 日(火)
応募点数：554 点(400 人)
展覧会：2019 年 6 月 29 日(土)～7 月 28 日(日)
会場　：久留米市美術館 1 階
入場者数：3,572 人
特別協賛：公益財団法人石橋財団

Ⅲ　処務の概況

１.役員に関する事項

2020 年 3 月 31 日現在

役 員	氏名	就任年月日	担当職務	現職
評議員	入江　智祐	2019.　4.　1		株式会社ブリヂストン 九州生産本部長兼久留米工場長
	橋本　安彦	2011.　4.　1		久留米商工会議所副会頭
	木村　清吾	2013.　6.　20		久留米連合文化会会長
	絹笠　順一	2011.　4.　1		久留米文化推進協議会会長
	石井　俊一	2019.　6.　18		久留米市議会議員
	井上　寛	2019.　6.　18		久留米市議会議員
	轟　照隆	2019.　6.　18		久留米市議会議員
	中島　年隆	2018.　8.　1		久留米市副市長
	大津　秀明	2017.　6.　29		久留米市教育長
理事	楢原　利則	2013.　6.　20	理事長	久留米市美術館館長
	永田　見生	2017.　3.　1	副理事長	久留米大学理事長
	本村　康人	2013.　6.　20		久留米商工会議所会頭
	西嶋　大二	2015.　6.　23		公益財団法人石橋財団常務理事
	龍頭　宏典	2013.　6.　20		旭ゴルフ株式会社取締役社長
	早田　耕一郎	2019.　6.　18		久留米市議会議員
	松延　洋一	2019.　6.　18		久留米市議会議員
	森山　純郎	2016.　4.　1		久留米市農政部参与
	吉田　忠隆	2019.　4.　1	常務理事	
監　事	潮田　康之	2019.　4.　1		株式会社ブリヂストン久留米工場 工場企画管理課長
	井上　益規	2019.　4.　1		久留米市会計管理者

２．会議に関する事項

区分	年月日	議事事項	会議の結果
臨時 評議員会 （みなし決議）	2019 年 4 月 1 日	第１号議案　定款の変更について 第２号議案　理事１名の選任について 第３号議案　評議員１名の選任について	原案承認可決 原案承認可決 原案承認可決
臨時 理事会 （みなし決議）	2019 年 4 月 1 日	第１号議案　常務理事選定の件 第２号議案　事務局長の選任について	原案承認可決 原案承認可決
第１回 定例理事会	2019 年 5 月 28 日	第 1 号議案　2018 年度 事業報告並びに決算について 第 2 号議案　2019 年度 定時評議員会の招集について	原案承認可決 原案承認可決
定時 評議員会	2019 年 6 月 18 日	第 1 号議案　2018 年度 事業報告並びに決算について 第 2 号議案　任期満了に伴う評議員９名の選任について 第 3 号議案　任期満了に伴う理事８名の選任について 第 4 号議案　監事の選任について	原案承認可決 原案承認可決 原案承認可決 原案承認可決
臨時 理事会 （みなし決議）	2019 年 6 月 18 日	第 1 号議案　代表理事（理事長）選定の件 第 2 号議案　副理事長選定の件 第 3 号議案　常務理事選定の件	原案承認可決 原案承認可決 原案承認可決
第 2 回 定例理事会 （みなし決議）	2020 年 3 月 27 日	第 1 号議案　2020 年度事業計画並びに予算書等について 第 2 号議案　決議の省略による評議員会の招集について	原案承認可決 原案承認可決
臨時 評議員会 （みなし決議）	2020 年 3 月 31 日	第 1 号議案　役員等の報酬及び費用弁償等に関する規定の改正について	原案承認可決

３．許可・認可・承認に関する事項

なし

４．届出・申請等に関する事項

年月日	項目	摘要
2019 年 4 月 15 日	法務局へ登記	評議員 1 名、理事 1 名、監事 2 名就任
2019 年 6 月 30 日	福岡県（電子申請）	役員変更の届出
2019 年 6 月 30 日	福岡県（電子申請）	2018 年度事業報告等の提出
2019 年 7 月 4 日	法務局へ登記	評議員 3 名就任並びに退任、6 名重任 理事 2 名就任並びに退任、6 名重任 監事 2 名重任
2019 年 8 月 30 日	福岡県（電子申請）	役員変更の届出
2019 年 10 月 31 日	福岡県（電子申請）	施設名称変更及び定款変更の届出
2020 年 3 月 29 日	福岡県（電子申請）	2020 年度事業計画書等の提出

５．組織に関する事項
（2020 年 3 月 31 日現在）

	一般職員	嘱託職員	市職員（派遣）
総務課	6	1	1
施設課	6	－	－
企画営業課	7	1	－
美術館総務課	2	1	－
学芸課	3	1	1
合　計	24	4	2

Ⅳ　附属明細書

２０１９年度の事業報告の附属明細書について、事業報告の内容を補足すべき重要な事項は存在しない。